

容器包装プラスチック

容器包装プラスチックは、適切に分別すれば資源として再利用することができますが、燃やすごみに混ざって出されることも多く、彦根市のごみの量が多い原因の一つと考えられます。

例えば、コンビニなどで買った弁当の空き箱には、価格や減量を印刷した紙のシールが貼られていますが、このシールをはがさなくても、空き箱は容器包装プラスチックとして出すことができます。

少し汚れが残ったもの、スナック菓子の袋なども、残りカスを燃やすごみとして捨ててきれいにするすることで、容器包装プラスチックとして再利用することができますようになります。

皆さんには少し手間をおかけしますが、ごみの減量と容器包装プラスチックの再利用を進めるため、ご協力をお願いします。

ごみの分別でわからないことがあれば、生活環境課または清掃センターへ問い合わせてください。